

各位

教育研究所所長 手嶋 将博
研修部主任 小幡 肇

『教育研究所 紀要』第33号の論文募集について

下記のとおり、『教育研究所 紀要』第33号の論文を募集します。ご希望の方は、寄稿申込書（所定、添付）にてお申込みください。なお、(1)の「特集テーマ」に関する論文は、テーマとの整合性について論文概要を検討させていただき、執筆の可否を決定いたします。

記

1. 募集内容

(1) 特集に関する論文

- ① 特集テーマ 「自己調整学習・自由進度学習」の展望
- ② 執筆分量 15,000字以内
- ③ 趣旨

令和3年答申では、「個別最適な学び」について「指導の個別化」と「学習の個性化」に整理し、児童生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるよう指導することの重要性を指摘している。その際、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するためには、教師が効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」が必要であることを示している。また、基礎的・基本的な知識・技能等や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、幼児期からの様々な場を通じての体験活動から得た子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が、自らの学習が最適となるよう調整する「学習の個性化」が必要であることも示している。

そこで、こうした動きを受け、今号の特集では、「自己調整学習・自由進度学習」の展望に関する論文を募集することとした。各教科、総合的な学習の時間、カリキュラム論、社会教育、教員養成・研修など、「自己調整学習・自由進度学習」をどのように構築していくことが可能なのにかに関する、さまざまな視点からの積極的な提言や論考を期待したい。

(2) 自由研究論文・実践研究 等

執筆分量

研究論文・実践研究：15,000字以内（頁の書式は20字×40行×2段）
その他：10,000字以内（頁の書式は同上）

2. 申込締切日 2024年6月21日（金）厳守
3. 原稿締切日 2024年9月30日（月）厳守
4. 投稿申込先 越谷校舎 教育研究所（内線2620）／ E-mail : kyokenz@bunkyo.ac.jp

※申込の際は、別紙『教育研究所 紀要第33号 寄稿申込書』に必要事項をご記入の上、

- ① 10号館2階の教育研究所に直接提出
- ② 3号館1階受付内「教育研究所メールボックス」に投函
- ③ 上掲メールアドレスに、申込書 Word ファイルをメール添付にて送信
（教育研究所 HP よりダウンロードできます。 <https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>）

①～③のいずれかの方法で、6月21日（金）までにお申込み下さい。

以上

【別紙「寄稿規定」を併せてご覧ください】